

2024年 12月 30日

JFA 第48回全日本 U-12 サッカー選手権大会 参加報告書

オホーツク地区 鈴木陽和

1, はじめに

この度、鹿児島県で行われた JFA 第48回全日本 U-12 サッカー選手権大会に派遣していただきましたので、報告させていただきます。

2, 研修会概要

参加大会：JFA 第48回全日本 U-12 サッカー選手権大会

マクドナルドフレンドリーカップ

研修日時：2024年12月25日（水）～2024年12月29日（日）

会 場：鹿児島ふれあいスポーツランド（鹿児島県鹿児島市）

鹿児島県立サッカー・ラグビー場（鹿児島県鹿児島市）

鹿児島県立鴨池補助競技場（鹿児島県鹿児島市）

白波スタジアム（鹿児島県鹿児島市）

参加者：各地域派遣審判員：計32名

参加INS：計16人



3, 事前研修会

研修日時：2024年11月13日（金）

2024年12月4日（金）

2024年12月10日（火）

2024年12月17日（木）

研修内容：大会参加に向けて・グループディスカッション・テクニカルサポート・事務連絡

研修会場：ZOOM

4, 担当試合

2024年12月26日	バンディッツいわき vs レノファ山口 FC	主 審
2024年12月26日	エスプリ長岡 FC vs FC 琉球	補助審判
2024年12月26日	アミティエ SC 草津 vs 松本山雅 FC	主 審
2024年12月27日	就将 SC vs デサフィオ C.F	補助審判
2024年12月27日	ディアブロッサ高田 FC vs FC グロウズ	補助審判
2024年12月27日	F.C.アンフィニ vs 大虫 FC	主 審
2024年12月28日	サカエ FC vs ソレッソ熊本 U-12	主 審
2024年12月28日	鹿島アントラーズつくば vs バディーFC	主 審

5. 担当試合振り返り

① バンディッツいわき vs レノファ山口 FC 主審担当 INS：吉田愛氏

前半は互角の戦いをされていて、いわきはFWにボールをつけて攻めることが多く、レノファは守備から一気にカウンターという形が多く、切り替えからのスプリントが多く必要な試合だった。特に後半に入ってから、レノファがカウンターで裏へのパスを出す機会が多くなり、オフサイドの監視がとても重要になった。

はじめのほうはFWの近くで監視をしていたが、近すぎて視野が狭くなってしまい、影から出てくる選手をうまくみることができなかった。そこで全体を見られるように外側から見るポジションに変えたところ、うまく監視ができるようになった。

試合を通しての改善点は、争点との距離が遠いことが考えられた。



② エスプリ長岡 FC vs FC 琉球 補助審判担当 INS：坂本柔剛氏

③ アミティエ SC 草津 vs 松本山雅 FC 主審担当 INS：新堀隆氏

この試合は、両者前線にロングパスでつけることが多く、スプリントが多く求められた。また、球際の争いが多くファウルがとても見分けにくいところが何度もあった。しかし自分の距離が遠く、角度も悪いためうまくジャッジする事ができず、前半からベンチで声が上がることが多くあった。

前半の12分に松本山雅のキーパーが顔面にボールが当たり、口から流血するという事象があった。負傷した部分が頭だということをしかり見れて、すぐに対応できたのはよかったと思う。

後半に入ってから、得点も競っているため選手もどんどん熱くなっていき、ベンチからもフィールドからも声があがりはじめ、プレーが荒くなり始めていた。ファウルをとったときなどにしっかり時間をかけて注意することが必要だったのに、そういった対応をできなかったのは改善すべきだと感じた。

後半の18分にゴール前で草津のファウルをとったのだが、笛を吹いたとほぼ同時に得点に繋がりが、なぜアドバンテージとらなかったと松本山雅の選手から声があがり、また草津の選手はファウルではないと声があがり、選手に囲まれることがあった。ここで堂々とした態度をとらなくてはいけなかったのに、私は困ってしまってもうまく対応することができなかった。それによって、ますます選手の不信感が高まってしまったのがよくなかったと思う。

この試合を通して出た課題は、事象との距離、笛を活用する回数が少なかったことなど色々あげられるが、1番は自分のメンタリティーの低さが前面に出てしまったことだと思う。

④ ディアブロッサ高田 FC vs FC グロウズ 補助審判担当 INS：坂本柔剛氏

⑤ 就将 SC vs デサフィオ C.F 補助審判担当 INS：坂本柔剛氏

⑥ F.C アンフィニ vs 大虫 FC 主審担当 INS：新堀隆 氏

終始互角で球際の激しい試合だったので、より近くでジャッジすることが求められ、前日から出ていた課題が争点との距離だったため、より意識して近くで見ることを頑張った。その結果ファウルもしっかりみえるようになって、自信をもってジャッジできるようになった。またライン際で競っていて近くに寄っても見えない時に、どこにポジションをとるのが良いかを学んだ。思い切ってコート外から見るようにすると見えるようになった。

後半にファウルをとったのだが、ペナルティーエリア内ということ意識できていなくて、とった後に焦ってしまってマネジメントを始めるのが遅くなってしまった。そこで課題は、常にその場で何が起こったらどういう対応をするという考えを持ちながらレフェリングをすることだとインストラクターの方と話をした。

⑦ サカエ FC vs ソレッソ熊本 U-12 主審担当 INS：杉山崇 氏

どちらのチームも中を活用してくるチームだったため、パスコースを遮ってしまわないようにいつも以上に外側から見る事を心掛けた。またボールを中心に密集する場面が何回もあり、色々角度を変えたり、ライン際の場合は積極的にコート外に出て、見えやすいポジションに動くように意識した。その結果、1, 2日目よりももっと自信をもってジャッジすることができて、自分の中でも余裕をもって試合をやりきる事が出来たと思う。

⑧ 鹿島アントラーズつくば vs バディーFC 主審担当 INS：坂本柔剛 氏

攻守が細かく切り替わる試合で、どちらのチームもカウンターの攻撃が多く、オフサイドの監視が重要だった。そして、とても強度が高い試合だったので、しっかり近くによって接触を見る事を頑張った。

後半の8分にゴール前でFKをとって、ゴールを狙える距離でクイックの可能性もなく、壁も近かったことを判断して、FK マネジメントを素早く始められたことが良かったと思う。

その時の壁の位置がペナルティーエリアのライン上で、振り返りの際にインストラクターの方からハンドの反則があった場合にPKかFKになるかの判断が難しくなるから、わざとライン上にならないよう少し遠く壁を設定する事もテクニックの一つだという助言をいただいた。

6. 終わりに

この度は、JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会に派遣していただき、ありがとうございました。初めての全国研修だったのですが、大会参加前から手厚いサポートをしていただき、不安なことを解消してから大会に参加できて、よかったです。

また大会では、地区では経験できないようなことがたくさんあり、自分がさらに成長する事ができた、とても貴重な機会でした。

そして、他地域の審判員やインストラクターの方と沢山交流させていただき、いろいろな学びがあって、とても有意義な時間でした。

今回学んだことをここで終わりにせず、さらに成長できるよう、トレーニングをもっと頑張ろうと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。